

第3次伊那市地域情報化計画（案）に対する意見の公表について

平成28年11月11日

○提案日 平成28年10月31日

○提案者 富県 60歳代 男性

○御意見（全文）

目標 1 安心 2 便利 3 協働 4 行政効率 に加え、「健やか」を加える

理由

近年多くの自治体が目標として掲げているのが「健康経営」です。

即ち、市民個々の健康情報を、行政が把握するためだけのものにせず、市民一人一人の目線で可視化し、健康増進・機能回復に対する意欲を高めていく取り組みです。健康は市民本人にとって、支える家族にとって幸せなばかりか、行政にとって大きな財政支出抑制効果を生みます。これからの伊那市の重要課題として是非加えて頂きたい。

事例

- ・北名古屋市 筋トレ・体幹トレなど行う拠点を設け、保健師による健康測定と指導者による運動メニュー作成、その後定期的にデータを可視化して運動成果を確かめる。データ分析から市の保健財政縮減効果が明らかになった。
- ・葛城市 市民に4桁のID番号を決めてもらい、配布した携帯運動量測定器から所定のPCに情報を入れ分析結果を本人に返す。それを元にテレビ電話で保健師と相談できる。

○市の考え方

御意見として承ります。

御意見の趣旨をふまえ、市の保健予防事業を推進する上で重要な視点として参考にさせていただきます。

市の健康増進事業の推進にICTを活用し、市民の健やかな生活に資する施策は重要です。さらにそれによって国民健康保健や介護保険などの財政負担の軽減も図るという視点は重要なご意見と承ります。一方、健康に関わる情報は厳重な管理を要する個人情報ですので、慎重かつ十分な時間をかけた検討を要することとして今後参考にさせていただきます。